



**会長** 菅原文之  
**幹事** 佐々木 源悦  
**会報** 佐々木 崇光 佐藤 静市  
           高橋 利光 渡辺 光悦  
**例会場** ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327  
**例会日** 毎週木曜日 12:30~13:30  
**事務所** ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

## 第2354回例会 2012. 6. 7 No.44

### 本日の出席率

- ・本日の出席率 72.5%
- ・前回確定出席率 86.8%

### ニコニコボックス

- ・菅原文之会長 本日は、佐沼クラブ本年度最後を飾るスピーチを、登米市長であります布施孝尚会員に務めて頂き、大変うれしく思います。楽しみにしていました。
- ・遠藤光則会員 5分区の親睦ゴルフ大会が6月3日(日)開催され、団体優勝して参りました。布施孝尚会員のスピーチを楽しみにしています。
- ・高橋義文会員 本日の布施孝尚会員のスピーチを楽しみに期待しております。6月3日(日)第5分区分登米・栗原ゾーン親睦ゴルフコンペで、我が佐沼クラブが健闘の結果優勝しました。
- ・阿部泰彦会員 布施孝尚市長さんをお迎えして！元氣な登米市のために頑張ってください。
- ・八谷郁夫会員 布施孝尚会員の市長としての講話、所用のため聞けません。公務ご苦労様です。
- ・布施孝之会員 富士原裕子会員のご尊父様の御逝去を悼み、心よりお悔み申し上げます。
- ・布施孝尚会員 本日スピーチの担当です。よろしくお願ひ致します。
- ・佐々木源悦幹事以下 本日のスピーチに期待して。  
 村上武彦会員 及川勝永会員 佐々木崇会員  
 佐藤敬喜会員 氏家良典会員 山田直志会員  
 阿部賢悟会員 猪股育夫会員 熊谷敏明会員  
 小泉洋会員 小野寺伸浩会員 武川毅会員  
 岩淵栄市会員  
 以上、ありがとうございました。

### 会長要件 菅原文之会長

暑い季節に入ってきました。体調の管理に十分配慮して激務に備えていただきたいと思います。風邪などは万病のもととなりますので、抜かりの無いように暴飲暴食に気をつけていただきたいと思います。

今日は大変うれしいことに、本年度のフィナーレを飾って布施孝尚会員に本年度のスピーチのしんがりを務めていただくことになりました。地区のリーダー中のリーダーである佐沼クラブの面々も市政に無関心ではいけません。大いに関心を持って参考にしていただきたいと思う訳でございます。私の見た布施市長感、飾らない生来の性格に加えて誰とでも気軽に接する姿勢は、政治家としてだけではなく人間としても尊敬に値するものと、いつも私は感心して応援いたしております。世のため、人のため、ロータリーのために頑張ってくださいと思っています。

本日は、富士原裕子会員のお父様がお亡くなりになられたということで、全員揃っての例会が叶わなくなり残念に思っております。この後三役も終わり次第ご法事に参加ということでお許しをいただいております。この様な事情から今年度最後の理事会は次週にしたいと思います。

### 幹事報告 佐々木源悦幹事

- ・花巻北RCより 創立40周年記念大会出席に対するお礼状
- ・ボーイスカウト迫第1団より、総会の案内  
 日時 6月16日(土) 15:00~  
 場所 迫公民館
- ・宮城県登米保健所より 薬物乱用防止指導員指導研修会の案内  
 日時 6月21日(木) 13:30~15:00  
 場所 登米合同庁舎 203号室

### 誕生祝 (6月に誕生日を迎えられる会員)

佐藤敬喜会員 阿部泰彦会員 武川毅会員



6月に誕生日を迎えられる会員

### 今週のスピーチ

#### 布施孝尚会員

昨年のスピーチでは、東日本大震災の復興等に関する現状の報告、全国のロータリークラブの皆様はじめ、民間の支援団体の皆様から色々ご支援をいただいた様子などをお話させていただきました。

震災から約1年3ヶ月経過してきたこと、そして、地域経済もそれぞれの業種の中で違いはあるものの、総じて登米市内の経済動向については消費傾向は少し上向き加減になっているという状況にあるのではないかと考えております。しかしながら、農業等に関しましては、やはり、売り先がなかなか見つからない、特に苺等については生産出荷しても全く問題ない物も、売れ残って返品になるものが非常に多いという状況も聞き及んでおります。特に苺は日持ちがしない物ですので生産農家の皆さんに大変ご苦労をいただいていると言う話も聞いているところであります。

ロータリーの中で取り組まれているものの中で、青少年の健全育成事業というのがあります。本市として直接教育行政にタッチ出来るのは、小学校就学前の状況と、小学校、中学校の義務教育ということですが、それ以外にも県立ではありますが高等学校等についても様々な係わり合いを持たせていただいております。そういった、これからの教育と人材育成ということでお話をさせていただきたいと思います。

先々週の月曜日、東京に出張して参りました。折しも金環日食の日でありました。数百年に一度という非常に珍しい天体ショーの中で、参加した勉強会は「世界に通用する人材育成のための21世紀型スキルフォーラム」というものでした。その会議の主催は全国市長会の会員仲間の市長さんで、色々と呼び掛けをいただき参加しました。これからの教育のあり方ということについて、やはり今までのやり方で良いのだろうかという疑問があり、そういった中でICTの技術を活用して様々な広がりを持つような取り組みが出来ないだろうかと言うような提案があり、アメリカのマイクロソフトの最高経営責任者のスティーブ・バルマー氏と日本マイクロソフトの社長さんのお二人をお招きして基調講演をいただきました。今までの学習、勉強と

というのは基礎的な学力を維持するという視点は当然なのですが、実社会に於て役に立つ知識を身に付けるための学習が義務教育課程での主要因でありました。しかしながら、これだけ時代が変化が激しい状況の中でそういう取り組みでよいのだろうかというようなお話がありました。そして、スティーブ・バルマー氏の話ですが、一昨年、アメリカの学者が次の様な話をしていたそうです。「当時のアメリカの小学生が、大学を卒業して社会人になって仕事をする時に、する仕事は今ある仕事をそのままする人は35%程度である。」と。

日本で言うと、今小学生の子供が大学を卒業する頃、15年後に、就く仕事の2/3は今ある仕事ではないという話でした。それだけ考えるとそんなに物事は変わるかと思いましたが、よくよく考えると、それは、今の世の中でもそうであると実感しました。例えば、私が高校生の頃の農業と今の農業を見てみますと、機械化の度合いが若干変わっているということだけではなく、物事の組み立て方、考え方がまるっきり変わってきている。製造業の方であっても特に高度成長期に企業誘致をした弱電関係の企業の皆さんは、ほとんど従業員の手作業で色々な部品を組み立て製造していました。でも、今は、ほとんど機械化されていてその機械のオペレートをすることが求められる技術になってきています。会社の経営等についてもやはり同じ様なことが言えるのではないのでしょうか。全てを経営責任者がまかなうということだけではなく、その組織に於ける人材育成については色々な専門の人をお招きして企業研修をなさったり、経営のスキルを上げるためにはそういった専門の指導をする方々を雇用したり、招いたりしながら、スキルを上げる取り組みをしている。

私の前の歯医者の仕事で言えば、昔は削って詰めて抜いてかぶせてという仕事でありましたが、当然そういった基礎的な仕事に変わりはありませんが、実はアプローチの仕方は全く異なっていて、出来るだけ歯を削らないで治す方法、維持する方法はどんな方法があるだろうか、そして、より良い方法を勧めるために患者さんに啓蒙活動を積極的にしなければなりません。今では少ない患者さんに対して、ほんとうに細かく口の中だけではなく、全体の健康状態をきちんと視野に入れながら、ある時にメンタルケアを含めて治療に携わっていくようなアプローチの仕方になってきました。

— 以下、紙面の都合上割愛させていただきます。



スピーチをする布施孝尚会員